

【論文】

英語学習に関する学生のピリーフ

糸 井 江 美

Student's Beliefs about English Learning

Emi ITOI

要旨：147名の英語を専攻する大学1年生がBALLI(the Beliefs About Language Learning Inventory)の34項目の設問に答えた。BALLIとはHorwitz(1985,1987)が開発した調査方法で、それにより1)言語学習の難しさ、2)外国語の才能、3)言語学習の特質、4)コミュニケーション・ストラテジーと学習ストラテジー、5)学習者の動機と期待の5つの分野に大別される学習者や教員のピリーフを調べることができる。ピリーフとは単なる知識とは区別され、個人の長年の経験や環境によって作り上げられたもので、その内容が一般的に真実かどうかは関係のない個人的な意見や信念だと考えられている(Borg 2001)。今回の調査によって分かった学生のピリーフは主に以下の通りである：英語によりコミュニケーション能力をつけたいと思っており、そのためには間違いを恐れずに話すことが大切だと考えている；発音の正確さは大切である；文法や語彙を知ることがその言語を学習するということである；英語を学習することで就職は有利になり、外国人との交流も深まる；英語は繰り返し練習することが大切である。学生のピリーフは中学、高校での学習経験からの影響を受けているようで、ピリーフには矛盾が見られたり、ピリーフと実際の行動が一致していない場合もあるようだ。よりよい学習環境や学習プログラムを提供するために、教員はまず学習者のことをよく理解する必要がある、そのためにも学習者のピリーフを調べる調査は有効な方法のひとつといえる。

キーワード：ピリーフ、動機づけ、コミュニケーション・ストラテジー、学習ストラテジー、ニーズ分析

0. はじめに

学習者は一般的に語学学習に関して独自の意見、つまりビリーフを持っている。自分自身の学習スタイルを常に認識しているわけではないが、教員からどのような指導を受けたいかという点に関しては強いビリーフを持っているようだ (Lightbown and Spada, 1999)。一般的に学習者ビリーフの研究は、学習者の外国語習得に関する意見を見つけ出し、学習者の不満、不安、動機の欠如などの原因を探ることが目的となっている (Kern 1995)。学習者のビリーフを調べるために現在までに数多くの研究がなされており (Horwitz, 1985, 1987; Mori, 1999; Nunan, 1995; Wenden, 1999) Nunan (1995) の研究では学習過程に関して学習者と指導者のビリーフに一致しない点が見つかった。学習者は間違いを訂正されることは非常に重要な学習活動の一つであると捕らえていたが、指導者はそのようには捕らえていなかった。また、間違いを自分で発見することの重要性やペアワークに関しても両者の意見に相違がみられることが分かった。

Mori (1999) は外国語として日本語を学習している187名の学生を対象に一般的な学習に関する学習者のビリーフと語学学習に関するビリーフを調べ、学習者のビリーフは学習の成果に統計的に関係していることを確認した。学習成果があがるようなビリーフを学習者が持つようにすることが指導者の役目としても大切といえるだろう。しかし学生の学習に関するビリーフはそれまでの長年にわたる学習経験から形成されたものであり、短時間で簡単に変化するものではない。教員の根気強く長期的な指導が必要となるであろう。

学習ストラテジー

ビリーフの調査目的のひとつに、適切な学習ストラテジーを学習者に教えることがあげられる。外国語習得のストラテジーとは学習者が学習効果

英語学習に関するピリーフ

を上げるために使う特別な態度や思考過程のことをいう (Oxford 2001)。ストラテジーに関するピリーフは学習効果に影響する重要な要素を持っていると考えられる。言語学習者の中には効果的な学習方法を実践して、優れた成果を上げている者がいるが、その多くは意識的に最良の学習方法を探し出し継続しているようだ。

学習者に適したストラテジーと指導方法が幸運にも一致すると学習効果が上がり、学習者は自信を持ち、不安や不満が減じられる。しかし、不幸にも両者のストラテジーに対するピリーフが一致しない場合が多い。もし教員が学習者のピリーフを事前に理解しているならば、学習者にとってもっと適したストラテジーを助言することができ、学習者は学習方法に関してより柔軟性を持つことができる。教員は常に語学教育に関する新しい理論や方法論を勉強し、さまざまなピリーフを持つ学習者に対応できなくてはならない。

学習目標

Van Ek (1987) は語学学習の目標は行動 (behavior) で示されると指摘する。語学学習に関わらずどんな学習でも学習者は今まで出来なかったことが学習の結果出来るようになることを期待しているのだ。それは例えば英語を話せるようになるという他人からも認識できる行動であったり、他人からは認識は出来ない行動、例えば英語圏の文化を理解できるようになるということだったりする。

そのような学習者の目標はピリーフによって知りうるニーズに深く関わってくる。学習者は将来どういう状況で英語を使う機会があり、どの程度の英語力を必要としているのだろうか。ピリーフ調査によって学習者も教員も具体的な目標設定が出来るようになり、目標が定まることによって学習が動機づけられるという結果を生む。

1. 調査方法

2001年の春、文教大学文学部英米語英文学科に入学した1年生147名を対象に英語や英語学習に関するさまざまな問題に対する学生のピリーフ（意見や考えかた）を調べるために調査を行った。調査にはHorwitz（1985, 1987）が開発したBALLI（the Beliefs About Language Learning Inventory）を使用した。BALLIには34項目の設問が含まれており、以下の5つの分野に関するピリーフ調査が出来るようになっている：

. 言語学習の難しさ

3. Some languages are easier to learn than others.
4. The language I am currently studying is:
 - 1) a very difficult language
 - 2) a difficult language
 - 3) a language of medium difficulty
 - 4) an easy language
 - 5) a very easy language
5. The language I am trying to learn (English) is structured in the same way as Japanese.
6. I believe that I will ultimately learn to speak this language very well.
14. If someone spent one hour a day learning a language, how long would it take him/her to become fluent?
 - 1) less than a year
 - 2) 1-2 years
 - 3) 3-5 years
 - 4) 5-10 years
 - 5) You can't learn a language in 1 hour a day.
24. It is easier to speak than to understand a foreign language.

英語学習に関するピリーフ

28. It is easier to read and write a language than to speak and understand it.

. 外国語の才能

1. It is easier for children than adults to learn a foreign language.

2. Some people are born with a special ability which helps them learn a foreign language.

10. It is easier for someone who already speaks a foreign language to learn another one.

15. I have foreign language aptitude.

22. Women are better than men at learning foreign language.

29. People who are good at math and science are not good at learning foreign languages.

32. People who speak more than one language well are very intelligent.

33. Japanese are good at learning foreign languages.

34. Everyone can learn to speak a foreign language.

. 言語学習の特質

8. It is necessary to know the foreign culture in order to speak a foreign language.

11. It is better to learn a foreign language in the foreign country.

16. Learning a foreign language is mostly a matter of learning a lot of new vocabulary words.

20. Learning a foreign language is mostly a matter of learning a lot of grammar rules.

25. Learning a foreign language is different from learning other school subjects.

26. Learning a foreign language is a matter of translating from English.

. コミュニケーション・ストラテジーと学習ストラテジー

7. It's important to speak a foreign language with an excellent accent.

9. You shouldn't say anything in the language until you can say it correctly.

12. If I hear someone speaking the language I am trying to learn, I would go up to them so that I could practice speaking the language.
13. It's O.K. to guess if you don't know a word in the foreign language.
17. It is important to repeat and practice a lot.
18. I feel self-conscious speaking the foreign language in front of other people.
19. If you are allowed to make mistakes in the beginning it will be hard to get rid of them later on.
21. It's important to practice in the language laboratory.
- ・ 学習者の動機と期待
23. If I get to speak this language very well, I will have many opportunities to use it.
27. If I learn to speak this language very well, it will help me get a good job.
30. Japanese think that it is important to speak a foreign language.
31. I would like to learn this language so that I can get to know its speakers better.

調査項目はすべて英文で書かれていたので、誤解を防ぐために日本語で口頭による説明を加えた。学生は5段階のスケールで表された回答のひとつを選ぶように指示された（1：強く同意する、2：同意する、3：どちらでもない、4：反対する、5：強く反対する）。ただし設問の -4と -14に関しては別のスケールになっている。（前述の設問を参照のこと）。著者の指示に従いながら全員が同じペースで回答をし、特定の学生がひとつの設問に関して長い時間考え込まないように配慮した。回答結果を他の学習グループのピリーフと比較する予定がなかったため、集計した数値に関する統計処理は行わなかった。

2. 結果と考察

学生のピリーフ調査に関する結果を表1と図1～7に示した。ここでは顕著なピリーフの特徴を5つの分野別に取り上げて考察することにする。

表1： 5つの分野と各スケールへの回答者数

1. 語学学習の難しさ

3	<table border="1"><tr><td>1</td><td>23</td></tr><tr><td>2</td><td>76</td></tr><tr><td>3</td><td>27</td></tr><tr><td>4</td><td>18</td></tr><tr><td>5</td><td>3</td></tr></table>	1	23	2	76	3	27	4	18	5	3	4	<table border="1"><tr><td>1</td><td>20</td></tr><tr><td>2</td><td>71</td></tr><tr><td>3</td><td>47</td></tr><tr><td>4</td><td>7</td></tr><tr><td>5</td><td>0</td></tr></table>	1	20	2	71	3	47	4	7	5	0	5	<table border="1"><tr><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>4</td></tr><tr><td>3</td><td>10</td></tr><tr><td>4</td><td>73</td></tr><tr><td>5</td><td>59</td></tr></table>	1	1	2	4	3	10	4	73	5	59	6	<table border="1"><tr><td>1</td><td>14</td></tr><tr><td>2</td><td>55</td></tr><tr><td>3</td><td>42</td></tr><tr><td>4</td><td>30</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td></tr></table>	1	14	2	55	3	42	4	30	5	6	14	<table border="1"><tr><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td>2</td><td>42</td></tr><tr><td>3</td><td>55</td></tr><tr><td>4</td><td>40</td></tr><tr><td>5</td><td>7</td></tr></table>	1	3	2	42	3	55	4	40	5	7	24	<table border="1"><tr><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>2</td><td>28</td></tr><tr><td>3</td><td>50</td></tr><tr><td>4</td><td>49</td></tr><tr><td>5</td><td>16</td></tr></table>	1	4	2	28	3	50	4	49	5	16	28	<table border="1"><tr><td>1</td><td>9</td></tr><tr><td>2</td><td>70</td></tr><tr><td>3</td><td>44</td></tr><tr><td>4</td><td>20</td></tr><tr><td>5</td><td>4</td></tr></table>	1	9	2	70	3	44	4	20	5	4
1	23																																																																																		
2	76																																																																																		
3	27																																																																																		
4	18																																																																																		
5	3																																																																																		
1	20																																																																																		
2	71																																																																																		
3	47																																																																																		
4	7																																																																																		
5	0																																																																																		
1	1																																																																																		
2	4																																																																																		
3	10																																																																																		
4	73																																																																																		
5	59																																																																																		
1	14																																																																																		
2	55																																																																																		
3	42																																																																																		
4	30																																																																																		
5	6																																																																																		
1	3																																																																																		
2	42																																																																																		
3	55																																																																																		
4	40																																																																																		
5	7																																																																																		
1	4																																																																																		
2	28																																																																																		
3	50																																																																																		
4	49																																																																																		
5	16																																																																																		
1	9																																																																																		
2	70																																																																																		
3	44																																																																																		
4	20																																																																																		
5	4																																																																																		

2. 外国語に対する才能

1	<table border="1"><tr><td>1</td><td>42</td></tr><tr><td>2</td><td>87</td></tr><tr><td>3</td><td>14</td></tr><tr><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>5</td><td>1</td></tr></table>	1	42	2	87	3	14	4	3	5	1	2	<table border="1"><tr><td>1</td><td>10</td></tr><tr><td>2</td><td>46</td></tr><tr><td>3</td><td>48</td></tr><tr><td>4</td><td>34</td></tr><tr><td>5</td><td>9</td></tr></table>	1	10	2	46	3	48	4	34	5	9	10	<table border="1"><tr><td>1</td><td>9</td></tr><tr><td>2</td><td>48</td></tr><tr><td>3</td><td>54</td></tr><tr><td>4</td><td>30</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td></tr></table>	1	9	2	48	3	54	4	30	5	6	15	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>2</td><td>18</td></tr><tr><td>3</td><td>59</td></tr><tr><td>4</td><td>45</td></tr><tr><td>5</td><td>23</td></tr></table>	1	2	2	18	3	59	4	45	5	23	22	<table border="1"><tr><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>2</td><td>16</td></tr><tr><td>3</td><td>58</td></tr><tr><td>4</td><td>45</td></tr><tr><td>5</td><td>28</td></tr></table>	1	0	2	16	3	58	4	45	5	28	29	<table border="1"><tr><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>10</td></tr><tr><td>3</td><td>35</td></tr><tr><td>4</td><td>63</td></tr><tr><td>5</td><td>38</td></tr></table>	1	1	2	10	3	35	4	63	5	38
1	42																																																																						
2	87																																																																						
3	14																																																																						
4	3																																																																						
5	1																																																																						
1	10																																																																						
2	46																																																																						
3	48																																																																						
4	34																																																																						
5	9																																																																						
1	9																																																																						
2	48																																																																						
3	54																																																																						
4	30																																																																						
5	6																																																																						
1	2																																																																						
2	18																																																																						
3	59																																																																						
4	45																																																																						
5	23																																																																						
1	0																																																																						
2	16																																																																						
3	58																																																																						
4	45																																																																						
5	28																																																																						
1	1																																																																						
2	10																																																																						
3	35																																																																						
4	63																																																																						
5	38																																																																						
32	<table border="1"><tr><td>1</td><td>13</td></tr><tr><td>2</td><td>60</td></tr><tr><td>3</td><td>52</td></tr><tr><td>4</td><td>21</td></tr><tr><td>5</td><td>1</td></tr></table>	1	13	2	60	3	52	4	21	5	1	33	<table border="1"><tr><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>42</td></tr><tr><td>4</td><td>76</td></tr><tr><td>5</td><td>26</td></tr></table>	1	0	2	2	3	42	4	76	5	26	34	<table border="1"><tr><td>1</td><td>38</td></tr><tr><td>2</td><td>77</td></tr><tr><td>3</td><td>23</td></tr><tr><td>4</td><td>6</td></tr><tr><td>5</td><td>3</td></tr></table>	1	38	2	77	3	23	4	6	5	3																																				
1	13																																																																						
2	60																																																																						
3	52																																																																						
4	21																																																																						
5	1																																																																						
1	0																																																																						
2	2																																																																						
3	42																																																																						
4	76																																																																						
5	26																																																																						
1	38																																																																						
2	77																																																																						
3	23																																																																						
4	6																																																																						
5	3																																																																						

3. 語学学習の特質

8	<table border="1"><tr><td>1</td><td>45</td></tr><tr><td>2</td><td>84</td></tr><tr><td>3</td><td>15</td></tr><tr><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>5</td><td>0</td></tr></table>	1	45	2	84	3	15	4	3	5	0	11	<table border="1"><tr><td>1</td><td>86</td></tr><tr><td>2</td><td>54</td></tr><tr><td>3</td><td>6</td></tr><tr><td>4</td><td>1</td></tr><tr><td>5</td><td>0</td></tr></table>	1	86	2	54	3	6	4	1	5	0	16	<table border="1"><tr><td>1</td><td>8</td></tr><tr><td>2</td><td>58</td></tr><tr><td>3</td><td>48</td></tr><tr><td>4</td><td>28</td></tr><tr><td>5</td><td>5</td></tr></table>	1	8	2	58	3	48	4	28	5	5	20	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>2</td><td>31</td></tr><tr><td>3</td><td>49</td></tr><tr><td>4</td><td>55</td></tr><tr><td>5</td><td>9</td></tr></table>	1	2	2	31	3	49	4	55	5	9	25	<table border="1"><tr><td>1</td><td>23</td></tr><tr><td>2</td><td>85</td></tr><tr><td>3</td><td>24</td></tr><tr><td>4</td><td>12</td></tr><tr><td>5</td><td>2</td></tr></table>	1	23	2	85	3	24	4	12	5	2	26	<table border="1"><tr><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>14</td></tr><tr><td>3</td><td>54</td></tr><tr><td>4</td><td>65</td></tr><tr><td>5</td><td>13</td></tr></table>	1	1	2	14	3	54	4	65	5	13
1	45																																																																						
2	84																																																																						
3	15																																																																						
4	3																																																																						
5	0																																																																						
1	86																																																																						
2	54																																																																						
3	6																																																																						
4	1																																																																						
5	0																																																																						
1	8																																																																						
2	58																																																																						
3	48																																																																						
4	28																																																																						
5	5																																																																						
1	2																																																																						
2	31																																																																						
3	49																																																																						
4	55																																																																						
5	9																																																																						
1	23																																																																						
2	85																																																																						
3	24																																																																						
4	12																																																																						
5	2																																																																						
1	1																																																																						
2	14																																																																						
3	54																																																																						
4	65																																																																						
5	13																																																																						

4. コミュニケーション・ストラテジーと学習ストラテジー

7	<table border="1"><tr><td>1</td><td>29</td></tr><tr><td>2</td><td>66</td></tr><tr><td>3</td><td>31</td></tr><tr><td>4</td><td>19</td></tr><tr><td>5</td><td>2</td></tr></table>	1	29	2	66	3	31	4	19	5	2	9	<table border="1"><tr><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>5</td></tr><tr><td>3</td><td>8</td></tr><tr><td>4</td><td>44</td></tr><tr><td>5</td><td>89</td></tr></table>	1	1	2	5	3	8	4	44	5	89	12	<table border="1"><tr><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td>2</td><td>15</td></tr><tr><td>3</td><td>29</td></tr><tr><td>4</td><td>70</td></tr><tr><td>5</td><td>29</td></tr></table>	1	3	2	15	3	29	4	70	5	29	13	<table border="1"><tr><td>1</td><td>19</td></tr><tr><td>2</td><td>78</td></tr><tr><td>3</td><td>34</td></tr><tr><td>4</td><td>14</td></tr><tr><td>5</td><td>2</td></tr></table>	1	19	2	78	3	34	4	14	5	2	17	<table border="1"><tr><td>1</td><td>90</td></tr><tr><td>2</td><td>52</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>4</td><td>1</td></tr><tr><td>5</td><td>0</td></tr></table>	1	90	2	52	3	4	4	1	5	0	18	<table border="1"><tr><td>1</td><td>10</td></tr><tr><td>2</td><td>58</td></tr><tr><td>3</td><td>45</td></tr><tr><td>4</td><td>25</td></tr><tr><td>5</td><td>8</td></tr></table>	1	10	2	58	3	45	4	25	5	8
1	29																																																																						
2	66																																																																						
3	31																																																																						
4	19																																																																						
5	2																																																																						
1	1																																																																						
2	5																																																																						
3	8																																																																						
4	44																																																																						
5	89																																																																						
1	3																																																																						
2	15																																																																						
3	29																																																																						
4	70																																																																						
5	29																																																																						
1	19																																																																						
2	78																																																																						
3	34																																																																						
4	14																																																																						
5	2																																																																						
1	90																																																																						
2	52																																																																						
3	4																																																																						
4	1																																																																						
5	0																																																																						
1	10																																																																						
2	58																																																																						
3	45																																																																						
4	25																																																																						
5	8																																																																						
19	<table border="1"><tr><td>1</td><td>5</td></tr><tr><td>2</td><td>25</td></tr><tr><td>3</td><td>48</td></tr><tr><td>4</td><td>58</td></tr><tr><td>5</td><td>11</td></tr></table>	1	5	2	25	3	48	4	58	5	11	21	<table border="1"><tr><td>1</td><td>18</td></tr><tr><td>2</td><td>79</td></tr><tr><td>3</td><td>42</td></tr><tr><td>4</td><td>8</td></tr><tr><td>5</td><td>0</td></tr></table>	1	18	2	79	3	42	4	8	5	0																																																
1	5																																																																						
2	25																																																																						
3	48																																																																						
4	58																																																																						
5	11																																																																						
1	18																																																																						
2	79																																																																						
3	42																																																																						
4	8																																																																						
5	0																																																																						

5. 学習者の動機と期待

23	<table border="1"><tr><td>1</td><td>40</td></tr><tr><td>2</td><td>62</td></tr><tr><td>3</td><td>26</td></tr><tr><td>4</td><td>16</td></tr><tr><td>5</td><td>3</td></tr></table>	1	40	2	62	3	26	4	16	5	3	27	<table border="1"><tr><td>1</td><td>32</td></tr><tr><td>2</td><td>70</td></tr><tr><td>3</td><td>32</td></tr><tr><td>4</td><td>13</td></tr><tr><td>5</td><td>0</td></tr></table>	1	32	2	70	3	32	4	13	5	0	30	<table border="1"><tr><td>1</td><td>28</td></tr><tr><td>2</td><td>77</td></tr><tr><td>3</td><td>25</td></tr><tr><td>4</td><td>15</td></tr><tr><td>5</td><td>2</td></tr></table>	1	28	2	77	3	25	4	15	5	2	31	<table border="1"><tr><td>1</td><td>28</td></tr><tr><td>2</td><td>62</td></tr><tr><td>3</td><td>39</td></tr><tr><td>4</td><td>15</td></tr><tr><td>5</td><td>3</td></tr></table>	1	28	2	62	3	39	4	15	5	3
1	40																																														
2	62																																														
3	26																																														
4	16																																														
5	3																																														
1	32																																														
2	70																																														
3	32																																														
4	13																																														
5	0																																														
1	28																																														
2	77																																														
3	25																																														
4	15																																														
5	2																																														
1	28																																														
2	62																																														
3	39																																														
4	15																																														
5	3																																														

1) 言語学習の難しさ（設問番号： 3, 4, 5, 6, 14, 24, 28）

学生は言語によって習得の難易度に差があると思っており、英語は日本語とは構造が違うので難しい言語であると捉えている（図1, 2）。しかしながら、いつかはうまく話せるようになるだろうという期待がある。一日に一時間の学習時間では流暢に話せるようになるのに何年必要かという14番の質問には1/3近い42名が1～2年と答えている（図3）。中学、高校と6年間英語を勉強してきているが十分にコミュニケーションを取れていない現実を考えると、この回答結果は学生がかなり楽観的過ぎることを示唆している。24番と28番の回答からはスピーキングやリスニングへの苦手意識があることがうかがえる。

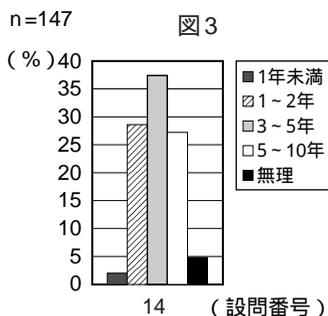
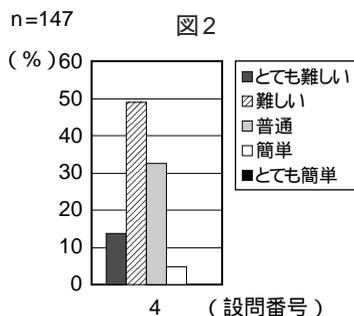
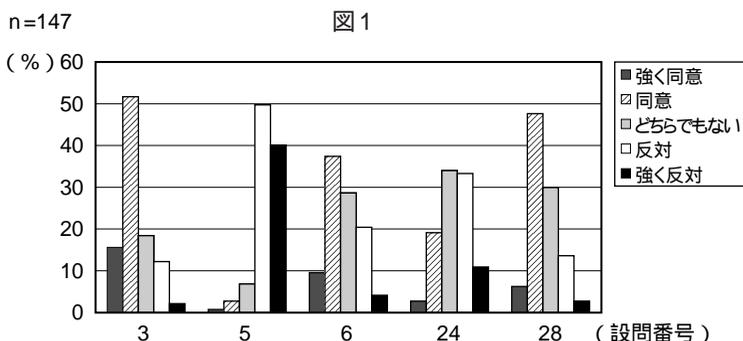


図1～3：言語学習の難しさに関するピロート

英語学習に関するピリーフ

2) 外国語の才能 (設問番号: 1, 2, 10, 15, 22, 29, 32, 33, 34)

「あの人は語学の才能がある」、「音楽の才能がある人は語学の才能もある」、「女の子の方が言葉は早い」、「関西人の方は上達が早い」などというあまり根拠がない語学の才能に関するコメントをよく耳にすることがあるが、学生たちは語学の才能に関してどのようなピリーフを持っているのだろうか。回答結果からは一例を除いて、誰にでも平等に語学を習得する才能があると信じていることが分かる(図4)。例外は年齢に関する設問である。現在、早期英語教育が盛んになり、英語雑誌などでは英語学習のスタートは早ければ早いほどよいという印象を与えるような宣伝文句が多く見られる。Critical period hypothesis (Lenneberg 1967) のように、右脳と左脳の機能が分化してしまう12、13歳を過ぎるとネイティブレベルの言語習得は不可能になるという説を信じている教育者も多いが、まだまだ議論の余地が残る問題である。目標とする到達レベルがネイティブレベルである必要もなく、個人個人違う到達目標を持っている学生には今から始めても遅すぎることはないことを強調したい。

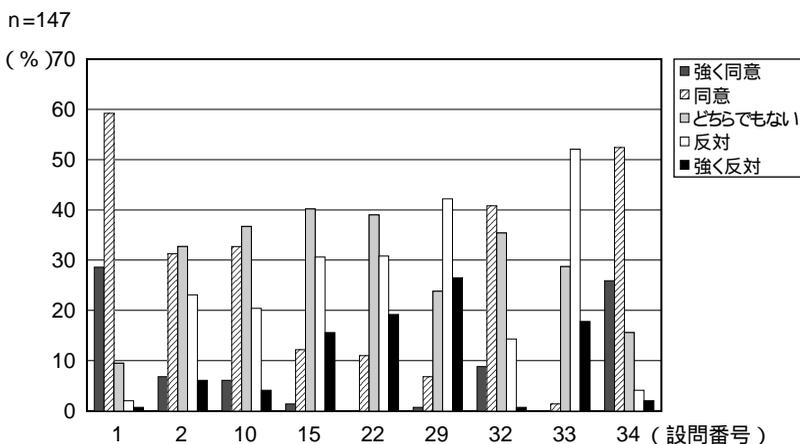


図4：外国語の才能に関するピリーフ

3) 言語学習の特質（設問番号： 8, 11, 16, 20, 25, 26）

設問8に関して、9割近い学生が言語学習には文化も知る必要があると考えている。本学では英語圏文化研究という科目が開講されており、文化を広く学ぶことで言語への興味も深まるという相乗効果があると思われる。設問11では現地で学ぶ方がいいと考えている学生は9割以上いることが分かった。多くの学生が海外留学を経験する時代になってきた。確かに、現地で学ぶことは語学力が伸びるだけでなく、異文化で生活することによって人間的にも大きく成長することができる。しかし、留学が実り多いものになるかどうかは、本人の強い意志、努力にかかっている。教員はしばしば学生の留学相談を受ける機会があるが、「海外に行けば英語はなんとかなるだろう」という安易な気持ちで学生が留学しないように適切なアドバイスを心がける必要があるだろう。また、優秀ながらも経済的な理由などで海外に行くことが難しい者にも留学のチャンスが与えられるようなプログラムの充実が望まれる。

設問16、20、25、26はアプローチやメソッドに関わってくる内容である。英語を日本語に訳す方法には懐疑的ではあるが（53%）、語彙力や文法力をつけることが言語を学習することだと考えている学生もかなりの割合

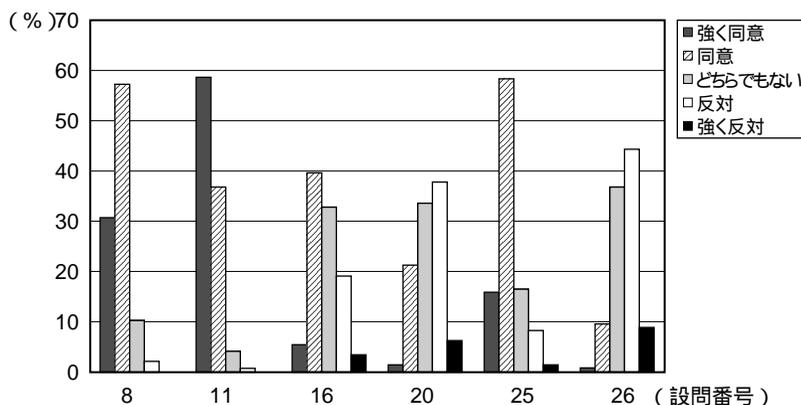


図5：言語学習の特質に関するピルーフ

合で存在する（それぞれ45%、22%）。日本の中学、高校では未だに受験を意識し、文法中心の授業が盛んであるが最近ではコミュニケーションのための英語運用能力に目を向けるようになり今後が楽しみである。

4) コミュニケーション・ストラテジーと学習ストラテジー（設問番号：
7, 9, 12, 13, 17, 18, 19, 21）

驚いたことに65%の学生が正確な発音で英語を話すことが大切だと考えていることが分かった。発音に関してはどこまでネイティブのようになる必要があるのか意見の分かれるところである。Carruthers (1987) は許容できる発音 (acceptable pronunciation) とは相手に理解できる発音であり、聞き手が誤解する、あるいはまったく理解できないような発音は矯正する必要があると指摘している。彼によると、許容できる発音も程度問題で、聞き手に非常に負担をかけるような発音はやはり治す必要があり、話し手自身が自分の発音に自信がないために話すことをためらったりする場合、また特に子供の場合、外国語訛のために友だちにからかわれたり、いじめられたりする時なども発音矯正の必要がある。

学生にネイティブ並みの発音習得を求めるのは時間的にも無理であり、学生のニーズから考えても非現実的であるといえる。許容できる発音、つまり聞き手に負担なく理解してもらえ、また本人も自信を持って話せる発音とは具体的にどういうものなのかを定義することは難しい。特に日本のように第二言語ではなく外国語として英語を学んでいる場合、教員の多くは日本人でありカタカナ英語でも容易に理解してしまったり、教員自身が発音に自信がなかったりする。また日本に長期滞在している英語ネイティブの教員も日本人訛の英語発音に慣れてしまっており、「許容できる発音」の範囲がかなり広がっていると考えられる。日本人が発音する「許容できる発音」を定義すること、そして学生が望んでいる発音レベルがその許容レベルとどの程度かけ離れているのかを把握することは今後の課題である。

設問17の回答を見てみると、学生は何度も繰り返し練習する大切さを理解していることが分かる。しかしビリーフと行動は必ずしも一致しないようで、実際に家で自主的に英語の練習をしている学生は少ないことを考えると、教員側からの課題などで練習する機会を与える必要があるだろう。

設問9「正確に言えるようになるまでは何も話さないほうがいい」、設問13「知らない単語の意味は推測してもかまわない」への回答から考察すると、学生は英語を話すときには文法的な正確さより意味やコミュニケーションを重視することの重要性を理解しているようだ。しかし、一般的にシャイで人前では積極的に発言できないといわれる日本人が、英語でとなるとますます発言できないことは容易に理解できる。教員としては授業で学生が感じる不安や自信のなさを軽減できるようにしなくてはならない。

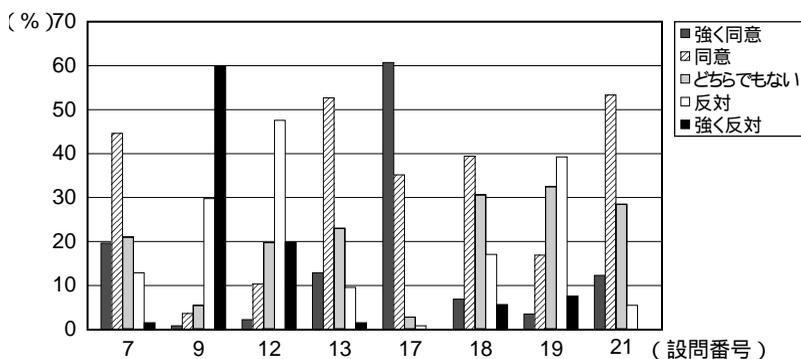


図6：コミュニケーション・ストラテジーと学習ストラテジーに関するビリーフ

5) 学習者の動機と期待 (設問番号： 23, 27, 30, 31)

最後は英語学習の動機と期待に関する設問である。学生は英語が出来ることによってよりよい仕事につけることや外国の人と親しくなれることを期待しているようだ(図7)。

英語学習に関するピリーフ

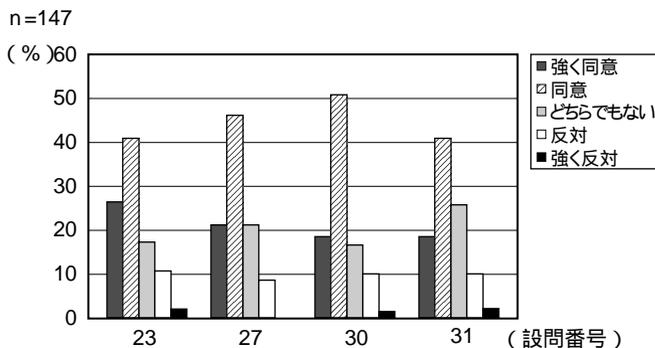


図7：学習者の動機と期待に関するピリーフ

第二言語習得理論を勉強していると必ずといって登場するのが、1950年代後半から現在まで精力的に研究を続けているカナダのGardner (1968)で、彼は動機を integrative motivation と instrumental motivation という二種類に分けて定義している。Integrative motivation は習得しようとしている言語を母語として話す人たちに対して肯定的な態度や感情を持ち、少しでも近づいて仲間になりたいと思う気持ちに関わってくる。一方、instrumental motivation とはより良い仕事に就くため、あるいは試験に合格するためなどのもっと実用的な理由がある場合の動機づけだ。

受験勉強から開放された大学新入生の多くは5月病が嘔かれるころになると学習動機をなくし、大学に来ている意味さえ分からずにいる。英語学習に関しても自分の学習動機を無くしている場合は多い。そんな場合には単にピリーフを調べるだけで終わらずに、その先のカウンセリングにつなげて、教員と一緒にニーズ分析に取り組む必要がある。教壇に立って教えていることだけが教員の仕事ではない。時間もエネルギーも取られる仕事だが、その結果期待したように学習者に学習効果が表れたとき、教員としての満足感は最大になると信じている。

Dornyei (2001) は学習動機を強化する方法として Motivational teaching practice と呼ばれるサイクルを紹介している。最初の動機づけ活動には成

功への期待や目標設定とともに現実的な学習者のピリーフを創り上げることが上げられている。最初の動機づけがうまくいくと、次の段階として動機を維持する必要がある。そこで学習者に刺激を与えたり、さらに明確なゴールを設定したり、学習者の自主性、自立性を尊重したりする。次に学習者に肯定的に自己評価をさせ、最後に教員の適切な態度やクラスの雰囲気作りなど基本的な動機作りの条件を整える。これはサイクルなので基本的な動機作りの条件が整っていることが最初の動機作りにつながっていくことになる。4つの段階のどこかがうまくいかないと、全体的な動機づけ活動がうまくいなくなるのだ。

以上、5つのピリーフの分野に関して簡単な考察をおこなったが、いずれの分野においても学習者のピリーフを実際の教育現場で生かしていくことが大切である。しかし調査方法や結果の利用については、いくつかの問題点が考えられる。一つはBALLIの設問内容が必ずしも日本の大学で英語を学んでいる学生の状況に適合していない点である。例えばLL設備に関する設問があるが、最近LLの使用頻度は低下し、コンピュータを使った授業を積極的に取り入れている大学が多いと思われる。調査を行う場所の学習環境によって設問の内容を変えて、より有効に結果を授業に反映させることが必要だ。次回の調査ではBALLIを基礎に自分の学習者や学習環境にあった設問内容を考えてみたいと思う。

二つ目の問題点は、調査の目的は学習者の学習効果を上げることにあるのだが、結果として表れる数字は学年単位やクラス単位の全体的な傾向であり、個々人の学生のピリーフを知ることは出来ない。個人としての学習者と向き合う大切さを考えると、この調査結果を一般化してクラス全体への指導に利用するには危険性がある。学生の抵抗がなければ特に重要だと思われる設問内容に関してはさらに詳しいピリーフ調査を記名方式で行うことも考えられる。ピリーフの調査をすること自体、学習者が自分自身に自問するきっかけとなり、新たな学習目標や学習ストラテジーを考える出発点となりうる。時間的な制限がある中、どこまで個人的なピリーフを

知り、指導ができるかが今後の課題である。

最後に、学習者のピリーフだけでなく、教員全体や組織のピリーフを調査することは大変意義深い、実施にはいろいろ難しい点が考えられる。

3. まとめ

今回147名の大学1年生を対象にピリーフの調査を行った。調査の結果、学習者の英語学習に対する考え方や意見を一部ながらも知ることができた。少しでも今後の授業でその結果を反映し、よりよい学習環境作りができるように努力していきたい。また、次回はBALLIの設問内容を検討し、自らが担当する学生に最適な内容に改良しもっと的確に学習者のニーズをつかめるようにしたい。

最後に、今回の調査では文教大学文学部英米語英文学科準備室の小山恵美さんに調査データの集計やグラフの作成を手伝っていただいた。この場をお借りしてお礼を申し上げたい。

参考文献

- Borg, M. (2001). "Teachers' beliefs" *ELT Journal*, 55, (2), 186-188.
- Carruthers, R. (1987). Teaching pronunciation. In M.L.Long & J.C. Richards (Eds.), *Methodology in TESOL, a book of readings* (pp.191-199). Heinle & Heinle Publishers, Boston.
- Dornyei, Z. (2001). *Motivational strategies in the language classroom*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Gardner, R.C. (1968). "Attitudes and Motivation. Their Role in Second-Language Acquisition." *TESOL Quarterly*, 2(3), 141-150.
- Horwitz, K. E. (1985). "Using student beliefs about language learning and teaching in the foreign language methods course." *Foreign Language Annals*, 18, (4), 333-340.
- Horwitz, K. E. (1987). Surveying student beliefs about language learning. In A. Wenden & J. Rubin (Eds.), *Learner strategies in language learning* (pp. 119-129). Englewood Cliffs, NJ: Prentice Hall.
- Kern, G. R. (1995). "Students' and teachers' beliefs about language learning." *Foreign*

- Language Annals*, 28, (1), 71-92.
- Lenneberg, E. (1967). *Biological foundations of language*. New York: Wiley.
- Lightbown, M. P. and Spada, N. (1999). *How languages are learned* (p59). Revised Ed. Oxford University Press. Oxford.
- Mori, Y. (1999) "Epistemological beliefs and language learning beliefs: what do language learners believe about their learning?" *Language Learning* 49, (3), 377-415.
- Nunan, D. (1995). "Closing the gap between learning and instruction." *Tesol Quarterly*, 29, (1), 133-158.
- Oxford, L. R. (2001). Language learning styles and strategies. In M.Celce-murcia (Ed.), *Teaching English as a second or foreign language* (pp. 359-366). Heinle & Heinle.
- Van Ek, Jan A. 1987. *The threshold level*. In Michael H. Long & Jack C. Richards (eds.), *Methodology in TESOL: A book of readings*, (pp78-85). Heinle & Heinle Publishers. USA.
- Wenden, L. A. (1999). "An introduction to metacognitive knowledge and beliefs in language learning: beyond the basics." *System*, 27, 435-441.